

(注8)九州のローカルコンビニチェーン。種子島では貴重な24時間営業店舗。もっとも、最近では西之表に24時間営業のファミレスもできており、夜間の食糧事情は格段に改善しつつある。

(注9)竹崎観望台のこと。ゲストハウスは丘の上、観望台は浜辺にあるので、こう言った。

# 2012年7月21日(土)

## 晴→スコール→晴



コンビニ店内にも打上げ告知が

成功祈願ののぼり



ゲストハウス入口

竹崎観望台。右下に中継車が見える。



打上げ15分前の報道席

いざ着いてみると、ゲストハウスの入口担当者は困った様子。そりゃそうだろう、違うところの入館証を持った人間が突然来たんだから。って、竹崎からは連絡してないのか！さすがに観光協会の方が声を荒げる。そして、私も。

「2年前から約束しているんですよ。どうなっているんですか！移動が大変な方もいるんです、結論出して下さい」

「いったい現場管理はどうなってるんですか、下(注9)でこちへ行けっていうから来たんですよ、入れないって、ふざけた話ですね。連絡来てるんですか？打上げも近いんですよ、写真とか、いろいろ準備したい物もあるんです、たらい回しはいい加減にしないで」

こうしている間に、9時半を回る。打上げまであと1時間半、普段なら機材セットアップを終え、試写をしている頃だ。確かに我々一行は報道ではなく、観光客だ。だが、正規ルートで通行証までもらっているのに、入れないとはどういうことだ。邪推の一つふたつしてしまおうぞ。

数分後、結論が出た。下に戻れ、とのこと。もうこういっただことはごめんなので、担当者の所属と名前を控え、確定であるとの言葉を取ったうえで、乗ってきたシャトルバスでとんぼ返り。乗り込むとき、JAXAの立川理事長とすれ違った。

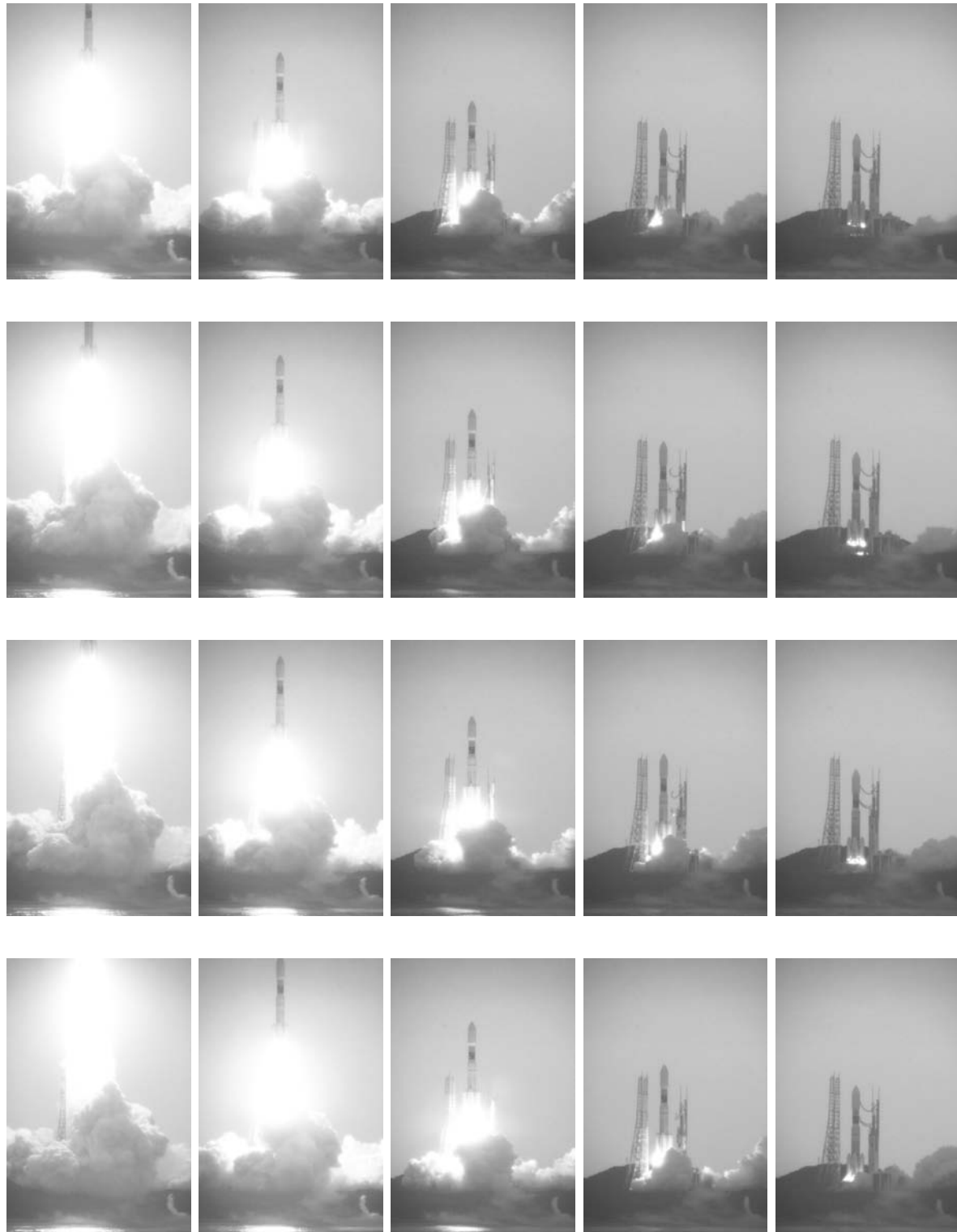
朝7時、眠い目をこすりながら布団を這い出す。一汁五菜くらいの豪華な朝食を食べ、8時過ぎに宿を出て、エブリワン(注8)に寄って、集合場所に指定された南種子町役場へ。道の両脇に並ぶ成功祈願ののぼりが新調されている。なんと、H・II B 2号機の写真を使ったフルカラーだ！今まで見たのは二色印刷ばかりだったので、驚いた。5月の「しずく」/「KOMPSAT」打ち上げ時にはハンゲル併記のものが用意されていたとのことなので、ここ半年は毎回専用ののぼりを作成しているということか。現在の観光協会はPRに熱心なようなので、こういったところに効果が出てきたのかな？

同行の面々とは、ここで顔合わせだ。お互いに挨拶をして、入館証を受け取って出発。センター入り口の検問もすんなり抜け、竹崎観望台のふもとへ。おお、中継車がいっぱい来ているぞ。記念撮影などしていざ入ろうとするも、しばらく待てとのことなので、エレベーターホールで足止め。何組かやり過ぎてそろそろかと思ったら、入口の担当者が、管理棟脇のゲストハウスに行けと言い出した。入館証には確かに「竹崎観望台」と書いてあり、どう考えてもおかしいが、現場の指示なので用意されたバスで移動。車いすの人もいたので、いろいろ手伝ったり。

# H-IIB F3 打上げ連続写真

打上げ時刻：11時06分18秒

機材・設定：Canon EOS 50D + シグマ 150-500mm F5-6.3、ISO200、1/500



## 天候変化で露出がずれていく様子



打上げ 10 秒前：報道席大雨

打上げ 10 分前：報道席雨

打上げ 30 分前：射点・報道席曇



低く垂れ込めた雲に向かって飛ぶ



(注17) これが店名。

(注18) チョコレート白熊：白熊にチョコレートソースをかけたもの、南海の黒熊：黒蜜仕立て、ベビー白熊：白熊の小さいサイズ、とはいえノーマルが大きいので、これでやっ普通のかき氷と同じ大きさだ。

(注16) おなじみの雑種猫。ROBOTICS;NOTES アニメ版の千座の岩屋シーンにも登場。まさかここまで取材するとは、脱帽である。

なっていくのだ。

昔は観光客が組立棟の屋上に上れた時期があるという。心配事が一つあるとそれを防ぐために一つ制限を加え、と「お役所的に着実にやってきた」成果がいまの種子島宇宙センターの立ち入り規制であろう。もういっそ筑波宇宙センターのように展示施設以外も閉鎖してしまえば、心配の種もなくなってよろしかろうと思う。観光客は興ざめだろうし、やがて人も訪れなくなつて一石二鳥ではないか。

あ、でも、センター内の道路は建設時の協定で一般利用させないといけないので、完全閉鎖は無理なのかな。

ちよこちよこ路肩に駐車して写真を撮りつつセンター内を南から北に走り抜け、広田漁港方面の道から出る。「恵美の湯」の現状をチェックしたら、お次は千座の岩屋。初めて島に来る人には、必ず案内するお気に入り入り場所だ。このロケット紀行にもほぼ毎回登場しているの、熱心な読者の皆様にはおなじみの場所かと思う。

猫は健在だった。(注16)  
13時半をめどに、西之表港をさして北上開始。

この時期に種子島を旅行すると、道の両側に広がる田んぼが金色に揺れるのを目にする。道中の重要な物資補給ポイント、中種子のAコープによって、島を出る前に最後の買い物。思ったより早く終わったので、港にも早く着くことができた。レンタカーの精算を終えたら船を待つだけ。待合所で、打ち上げなどの写真集を出しているサークル「TERREROUGE」の霧島さんと一緒に買った。飲み物がなくなっていたので、自販機でデイリーコーヒーを購入。

定刻通り出向した高速船「ロケット」は、16時35分、鹿児島港に着いた。時間があるので、霧島さんと三人、「天文館むじゃき」(注17)で白熊を食べていくことにした。私はチョコレート白熊、霧島さんが南海の黒熊、初体験の遠藤はベビー白熊(注18)を注文。たくさん種類があるので、来るたびに別のものを頼んでいくのが楽しみなのである。

出がけに目に入った店の沿革によれば、東



Aコープ中種子店

千座の岩屋猫

海、港、漁船、稲わら。

稲刈り真っ最中。日本一早くコシヒカリを収穫する。

↓千座の岩屋、内部パノラマ。

